



6回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) ストレス理論(生物学的・心理的)									
7回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) 病みの軌跡									
8回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) レジリエンス									
9回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) 疾病受容/障害受容									
10回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) 危機理論									
11回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) コンフォート									
12回	第3回の理論の学び方に従って、担当者がレポートしプレゼンテーションを行う。(中西・松井) 移行理論									
13回	事前に提示する課題図書(もしくは論文)について、深く読み取る訓練を行う:その1。(中西・松井)									
14回	事前に提示する課題図書(もしくは論文)について、深く読み取る訓練を行う:その2。(中西・松井)									
15回	事前に提示する課題図書(もしくは論文)について、深く読み取る訓練を行う:その3。(中西・松井)									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
担当プレゼンテーションの内容(50%)、毎回の討論の内容(50%)トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等	①黒江ゆり子監訳:クロニックイルネス, 医学書院 ②南裕子監訳:慢性疾患を生きる-ケアとクオリティ・ライフの接点, 医学書院 ③江口重幸他訳:病の語り, 誠信書房									
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)										
第4回~12回では、自分が担当する理論のプレゼンテーションができるよう資料を作成し事前配布しておく。他者の担当回については、事前に配布された資料に目を通し討論に参加できるよう準備して臨む。 第13~15回は、指定した課題図書について討論ができるように読み込んでおく。										
関連科目										
前科目										
後科目	M214	成人看護学特論Ⅱ	M215	成人看護学特論Ⅲ	M216	成人看護学演習	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ
実務家教員										
看護師(医療機関)	中西	純子								
看護師(医療機関)	松井	美由紀								
備考	授業は2回続きで行いますが、順序は変更になる可能性があります。 課題図書(もしくは論文)は授業内で提示します。									